

学校保健研究

Japanese Journal of School Health

2021 Vol.63 No.3

目次

巻頭言

- ◆養護教諭養成教育における現状と課題…………… 134
遠藤 伸子

総説

- ◆学校内で新型コロナウイルス感染者が発生した際の学校対応および保健所による積極的疫学調査の実際…………… 136
康井 洋介, 徳村 光昭

資料

- ◆栄養教諭養成における食物アレルギーに関する教育の実態…………… 139
我那覇ゆりか, 喜屋武 享, 我那覇ゆり子, 新城 澄枝
- ◆心肺蘇生教育に対する養護教諭の意識—経験年数による比較—
…………… 149
吉田 智子, 岡本 希
- ◆外国につながる児童生徒に対する養護教諭の健康支援プロセスに関する質的研究…………… 160
中下 富子, 朝倉 隆司, 上原 美子, 武井 佑真,
内藤 美穂, 松本 愛梨

連載

- ◆日本学校保健学会が保健教育の未来を考える：
第3回「世界との比較で保健教育をどうみるか」
—米国と英国の動向からみた課題と解決の方向性—…………… 175
植田 誠治
- フィンランドが指し示す日本の保健教育の未来—…………… 181
小浜 明
- ◆新型コロナ禍での学校保健：
第3回「新型コロナウイルス感染症に伴う養護教諭の実践に関する緊急アンケート（第1回から第3回）報告」…………… 190
大沼久美子

JAPANESE JOURNAL OF SCHOOL HEALTH

CONTENTS

Preface :

- Current State of and Challenges Facing Educational Institutions for Student
Yogo Teachers.....Nobuko Endo 134

Review :

- Correspondence after Confirming a Case of COVID-19 among Students and Teachers
in Schools and Active Epidemiological Investigation by Public Health Centers
.....Yosuke Yasui, Mitsuaki Tokumura 136

Research Note :

- Current Status of Food Allergy Education in Diet and Nutrition Teacher Training
School.....Yurika Ganaha, Akira Kyan, Yuriko Ganaha, Sumie Shinjo 139
- Yogo* Teacher Awareness of Cardiopulmonary Resuscitation Education
—Comparison with Number of Years of Work Experience—
.....Tomoko Yoshida, Nozomi Okamoto 149
- A Qualitative Study on the Health Support Process of *Yogo* Teachers Provided to
School-age Children and Students Connected with Foreign Countries
.....Tomiko Nakashita, Takashi Asakura, Yoshiko Uehara,
Yuma Takei, Miho Naito, Airi Matumoto 160

Serial Articles :

- Let's Talk about the Future of School Health Education in Japanese Association of
School Health
3. Issues in School Health Education Found through Trends in Other Countries
—Challenges and Solutions of the Trends Found in the United States and the United Kingdom—
.....Seiji Ueda 175
- Finland's Today Shows Japan's Future Health Education—
.....Akira Kohama 181
- School Health Activities during the COVID-19 Pandemic
3. Report of the 1st to 3rd *Yogo*-Practice Questionnaire on COVID-19
.....Kumiko Onuma 190

Japanese Association of School Health

関連学会の活動 第1回国際看護・学校保健シンポジウム及び

第5回スペイン看護・学校保健大会（バーチャル学会）のご案内

面澤 和子（弘前大学名誉教授）

このシンポジウムは、国際スクールナース・ヘルスプロモーション学会（ISNA：International Association of School Nurses & Health Promotion）とスペイン看護・学校保健学会（ACEESE：Spanish Scientific Association of Nursing and School Health）の共催である。ISNAは、教育センターで世界中の児童生徒のために、学校での医療支援と健康増進を提供する権利を求めて日々仕事に励むすべての看護師の支援を目的としている。

〈目的〉諸外国のSNの経験や日常業務を共有し、SNの仕事を可視化して、配置数を明確にする。国内及び国際的なSNの緊密な絆を確立し、国際レベルの学校看護基準を作成する。学校看護及びヘルスプロモーションに関する研究論文等を公開し、利用可能とする。SNの適切な養成と実践の高度化を図り、学校看護を通じて健康管理と健康教育を促進し、他の専門家と共働して、国際大会、会議、セミナーを開催する。

【使命】SNの知識と経験を統合して、世界中のすべての学校で適切な健康管理と教育を保証する。

【ビジョン】SNが今日の社会に不可欠であることを示す。〈関心のある方は以下の要項をご参照下さい〉

1. 主催：国際看護・学校保健学会（ISNA）及びスペイン看護・学校保健学会（ACEESE）
2. 日時：2022年3月23日（水）～25日（金）、15-20時（CET（中央ヨーロッパ時間）、日本時間23時-4時）
3. 主要テーマと分科会：(1)学校の看護師の能力と役割、(2)特別支援が必要な子供と青少年、(3)健康教育とプロモーション、(4)学校の健康調査、(5)学生の健康記録、(6)スクールナースの養成、(7)パンデミック時のヘルスケア、(8)その他の諸課題。
4. 抄録の提出（提出期限：2021年10月20日迄）
 - 1) すべての抄録の特性：題名、筆頭著者（口頭・ポスター発表の責任者）、共同研究者（筆頭著者を含めて5人以下、全著者を登録すること）、電子メール。
 - 2) 書式：最大250ワード、・はじめに、目的、方法論、結果、および結論、・電子メールで発表形式（ポスターか口頭発表）を明記する、・使用言語：スペイン語、英語、またはフランス語が可能。
推奨：パワーポイントは口頭発表の使用言語とは異なる言語も可能（スペイン語か英語が望ましい）
 - 3) 抄録提出先：aceese.nacional@gmail.com（全国大会）、isna.schoolnurses@gmail.com（シンポジウム）。
5. 参加登録情報（2021年10月25日～2022年3月20日迄）
 - 1) ISNA/ACEESE/ACISE会員：20€（ユーロ、早期申込：2022年1月15日迄）、30€（延滞料：2022年3月20日迄）
非会員：70€（早期申込：2022年1月15日まで）| 85€（延滞料）。
 - 2) 参加費支払い：口座名義：ASSOCIACIÓ CATALANA D'INFERMERIA I SALUT ESCOLAR
IBAN（国際銀行口座番号）：ES70 2100 0191 1102 0025 1451
BIC（金融機関識別コード）：CAIXAESBXXXX
科学委員会は20の口頭発表を選択する。招聘講師は無料。
6. 口頭およびポスター発表（抄録通知は、2021年10月20日～24日）
 - 1) ポスター：組織委員会が指定した定型書式で発表すること。
 - 2) 口頭発表：10分のビデオ発表。
 - 3) シンポジウムの口頭発表は、できれば英語で行う。
ただしビデオに英語の字幕、パワーポイントが英語の場合は、スペイン語またはフランス語で発表してもよい。
 - 4) すべての口頭発表とポスター発表は、パワーポイントを用いる。
7. 抄録の要件：・最大1750～2500語（文献を含む）、
・タイトル、著者名、および電子メールを記載する。
・フォント：Time New Roman、
・使用言語：英語、スペイン語、またはフランス語
・提出期間：2021年7月30日～9月30日。

●ISNAのホームページは次の通り。ISNA：www.isna.info

